

市営住宅、どうしてこんなに入居できなんでしょうか!?

人気の団地に申し込みが集中

市営住宅について、「毎回のように入居しても、全くは入れない。」そんな相談がたくさん寄せられます。

市営住宅は、全体的に老朽化が進んでいます。申し込む

ときに、新しく買い物や通院に便利なところ、そう考えるのは当たり前です。しかし、そうした団地は、ものすごくむずかしくなっています。原因はハッキリしています。



市営住宅の新築を抑え、新築は原則、老朽化している団地の建て替えに限定、しかも大幅に戸数を削減した上での建て替えですから、便利な場所の市営住宅そのものが極端に少ないのです。

団地別の申込と入居結果 (R4年度)

	申込	入居	入居率
鳥取	28	0	0.00%
新川北	97	4	4.12%
昭和	21	2	9.52%
緑ヶ岡	51	8	15.69%
美原	12	2	16.67%
鳥取南	26	5	19.23%
春採	28	5	17.86%
旭	29	8	27.59%
新川駒場	40	15	37.50%
春日	16	7	43.75%
鶴が岱	2	1	50.00%
宮本	2	1	50.00%
芦野	4	2	50.00%
白樺台	14	7	50.00%
武佐	6	4	66.67%
興津	10	9	90.00%
松浦	1	1	100.00%
大楽毛	1	1	100.00%
益浦	0	0	
柏木	0	0	
米町	0	1	

単身の競争率は9.2倍!!

もうひとつの原因は、申し込みの3分の2が単身での申し込みなのに、単身の間取りの市営住宅が極端に少ないことです。

単身と家族ありではこんなに格差が

	申込	入居	入居率
単身	368	40	10.87%
一般/家族あり	221	50	22.62%
合計	589	90	15.28%

(R4年の市営住宅の募集・入居結果)

こうしたことは市も認識しています。近いうちに、またまった対応策を示す予定です。市営住宅の「空き家」を一戸でも多く直して、新たに入居できるようにすることが解決策の一つです。

アパートも受け皿の一つ

市営住宅に申し込む動機の一つが家賃の安さです。であれば、市営住宅と変わらぬ間取りで、家賃も市営住宅なみなら、「民間のアパートでもいい」と思う人もいるでしょう。



家賃補助創設がカギ

高齢者など住宅の確保が難しい人に、入居を保障する住宅セーフティネットという民間アパートの制度があります。しかも、家賃を最大4万円、軽減できます。

ただし条件があつて、市が家賃補助制度をつくること、そうすれば国が費用の1/2を負担します。

釧路市には家賃低廉化の補助金がありません。家賃補助制度ができれば、入居希望者にも、アパートの所有者も、新しい選択肢になりえます。